



ふかだ 深田のぼる 後援会ニュース

第16号 2016年8月 発行

「今後の部活動のあり方検討会」具体的検討を進める答弁

第5回（6月）定例会で「中学校における部活動のあり方について」質問をし、「今後の部活動のあり方検討会」の設置を検討する答弁がありましたので紹介します。

部活動数減少の背景

- ・生徒数の減少（30年前比50%減、10年後には更に30%減）
- ・教員数の減少（ // 35%減 ⇒ 顧問の専門性確保も困難に）
- ・顧問となる教員の多忙化（授業準備や学級経営等にも影響）

国・県の動き

部活動休養日の設定や、休日指導の際に支給する手当の増額について検討中。

しかし、これらは根本的な解決策ではありません。学校間連携による**部員確保**や、地域・事業者と連携した**顧問確保**の取り組みが必要と考えます。

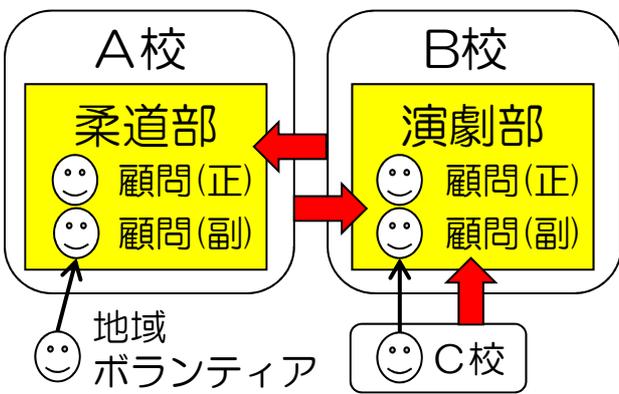
今後の部活動の形（私案）

- ・運動部、文化部を問わず
- ・単独校では存続できないよう部活動や
- ・部員数がまとまれば、より良い活動ができる部活動に対し
- ・市内全域を対象とした、または市内をブロックに分けた形で
- ・複数学校間や地域、外部団体と連携した「合同部活」を設置

「合同部活」で課題解決を！

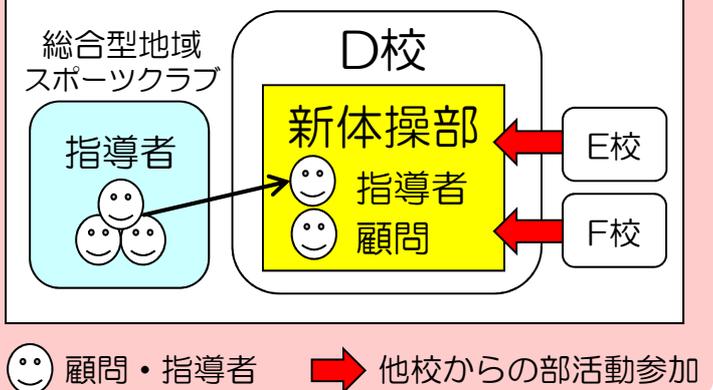
学校連携型

学校同士が連携し、地域の協力を得ながら活動する合同部活。



総合型地域スポーツクラブ(※)型

地域に密着したスポーツクラブを核とした合同部活。



深田のぼるよりひとこと

今後の部活動のあり方は全国的に共通する課題です。将来のあるべき形を見据えて引き続きの働きかけをし、沼津発の形を作り上げていきたいと考えています。

※ 総合型地域…生涯スポーツ社会を目指し、文部科学省が1995年より実施するスポーツ振興策で、幅広い世代の興味関心や競技レベルにスポーツクラブを合わせ、様々なスポーツに触れる機会を提供する地域密着型クラブ。沼津市ではアスリートスポーツクラブが準備中。

ご意見・ご要望がありましたら、後援会事務局までご連絡ください。

